

アンケート結果

アンケートに書かれた意見の抜粋を紹介します。

Q. 最も印象的だったこと

- ・初めて会う人たくさんいました
- ・各職種、年代の方からのアイデアを聞いて貴重な体験でした
- ・みなさんのつながりを大切にしながら生活したいという気持ちは同じだと感じました
- ・初対面の方と「楽しい」と思えることについて話し合えることは新鮮

Q. チャレンジしたいと思ったこと

- ・子どもと食からの広がり
- ・備長炭を使った企画
- ・九州自然歩道のあるいてみたい
- ・老若男女集まれる場所づくり
- ・旧小学校の活用
- ・自分にできること、サポート、応援していきたい



News Letter vol.1

総合戦略“みさとわくわくプロジェクト”の実践に向けて、まちで楽しく過ごすためのさまざまな取り組みアイデアを話し合いました。総合戦略で描いたビジョンをわくわくしながらみんなで実践していきます。

みさとわくわくプロジェクト わくわくWORK 実践編 とは？

第3期美郷町まち・ひと・しごと創生総合戦略（総合戦略）は、美郷町に住み続けたい、魅力的なまちづくりを進めていくために、住民、地域団体、事業者など、たくさんの方に参加いただき戦略づくりをすすめ、とりまとめたものです。そうして定めた総合戦略の基本理念は、「～まちで楽しく過ごしたいよね～みさとわくわくプロジェクト」です。この基本理念を実現していくために、町民の主体的な活動や、役場と町民の協働による取り組みが重要です。それらをすすめていくための第一歩として、「わくわくワーク 実践編」を開催します。「わくわくワーク実践編」では、4回の連続プログラムを通して、美郷町内で楽しい時間を過ごせるようなさまざまな活動を生み出していきます。

第一回
2025年7月16日(水) 19:00~21:00
会場 旧田代小学校(幼稚園)
「みさとわくわくプロジェクト」を実践するアイデアを考えよう！

第二回
8月31日(日) 10:00~12:00
会場 旧田代小学校(幼稚園)
アイデアを実現に向けて準備をすすめよう！

第三回
10月19日(日) 11:00~15:00
会場 旧田代小学校
ちいさくお試し“みさとわくわくDAY!”
みんなで考えたみさとでわくわくした暮らしを実現するためのプログラムをちいさくお話ししよう！

第四回
11月開催予定
ちいさくお話しした結果をみんなでふりかえろう！

開催概要

- 日時 2025年7月16日(水) 19:00~21:00
- 会場 旧田代小学校(幼稚園)
- 参加者 20名

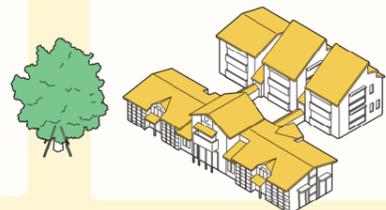


当日のプログラ

- ・はじめに
- ・これまでのふりかえり
- ・総合戦略の実践に向けた社会実験とは
- ・自己紹介
- ・グループわけ
- ・ワーク「社会実験でどんなプログラムができるかアイデアを出し合おう！」
- ・おわりに

はじめに

美郷町で何かにチャレンジしてみたい方、そして、みんなのチャレンジを応援したいと思っている方が多く参加くださっていると思います。わくわくワーク実践編では、美郷町でやってみたいことを話し合いながら、仲間を見つけて、小さく試験的にやってみる取り組みです。そして、その結果を本格的にチャレンジする際に活かしてもらうことが目的です。これらの取り組みが、総合戦略“みさとわくわくプロジェクト”の実現につながっていくと考えています。



美郷町役場 政策推進室 川西さん

問い合わせ先

美郷町役場政策推進室
〒883-1101 宮崎県東臼杵郡美郷町西郷田代1番地
TEL 0982-62-6203 FAX 0982-66-3137
✉ seisaku@town.miyazaki-misato.lg.jp

事例紹介

本ワークショップでは秋に社会実験を行い、取り組みの自走にむけたお試しを行います。住民が社会実験を通して自主的な取り組みをはじめた2つの地域の事例と今年度のポイントを紹介しました。

▶ たべると暮らしの学校（北海道黒松内町 2015年）



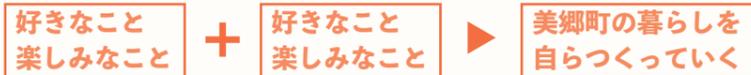
この町では総合戦略を地域の若者と考え、4つの目標を掲げました。その後住民が楽しく学び、活動を生み出すワークショップを開催。6つの部活が誕生し、翌年度以降自主的に活動していくことになりました。活動の自走にむけて社会実験を行ったことで、活動場所の提供につながり、取り組みは5年以上続いています。この事例のポイントは、「**日常の延長にある活動**」といえるでしょう。地域で気になっていたことや、やりたいことを軸に無理なく自分たちができることを持ち寄ったことで、無理を感じず自主的に続けることができている。

▶ RAKUSAI Pub.Lab.（京都府京都市 2023年～）



京都にある洛西ニュータウンでは、地区の将来像をまとめたランドデザインをベースに、5年後、10年後の洛西の将来像を考え参加者同士で対話したりしながら、理想の洛西の暮らしに向けた取組を企画、実践しました。この事例のポイントは「**理想の風景を描くこと、小さくはじめること**」です。自分たちの理想の暮らしを社会実験で体現することで新たな仲間を増やし、小さくはじめることで自走にむけての準備ができました。

▶ 美郷町の場合



自己紹介

3人1組になって自己紹介カードを使って自己紹介しました。何度かメンバーをシャッフル。初めて出会う人もたくさんいて、さまざまな人と交流する時間になりました。



自己紹介カードは名前、お住まい、興味のあるキーワード、具体的にやりたいことを書き込みました。



始めて会う人、知り合いだけどゆっくり話したことがなかった人など、お互いに知り合う機会となりました。シャッフルを何度か繰り返し、わいわいと賑やかな時間となりました。



ワーク「社会実験でどんなプログラムができそうかアイデアを出し合おう！」

自己紹介で記載したキーワードをもとに5つのグループに分かれて、わくわくプロジェクトを実践にむけた社会実験でどんなプログラムができそうか、テーマごとに話し合いました。

交流・つながり



何をするにもまず、人とのつながりが大事。そして、町内で情報を共有できる場所「告知場」のような、みんながそこを見れば、まちの情報を得られ、イベントがかぶるようなことも防げて、協力し合える。

地域の歴史・文化



歴史や文化を気楽に集まって話す場が少ない。子どもたちに自慢できる町だということを伝えたい。備長炭の生産地であるので、炭をおこしながら、歴史の話や美味しいものを食べるような小さな取り組みから始めたい。

子ども・教育・遊び



子どもたちが集まってご飯を食べる場所をコミュニティでもちたい。延岡では月に数回開催している子ども食堂がある。大人同士の関係づくりにもつながる場になる。西郷、北郷、南郷、3ヶ所で定期的にできるといい。

暮らし・仕事



北の郷のような場所で美郷町の飲食店が集まる食のイベント、備長炭でお餅を焼いて食べるイベントをやりたい。AIを子どもから大人まで使えるようになるといい。そのための一歩として講座をやりたい。

観光・自然・スポーツ



美郷町を通る九州自然歩道を利用したアクティビティとして、走ったり歩くだけでなく、アウトドアを楽しんだり、郷の暮らしを感じられる自然歩道の良さをいかしたプログラムをやりたい。

コメント

めっちゃ面白い！楽しそう！という相槌がたくさん出ていた。ワークショップの場ではとても大切なこと。それが自然にできる美郷町はすごいなと思いました。たくさん刺激やインプットを得たと思いますが、これから企画を考えていく上では、自分自身が楽しいと思えることが、わくわくするかということを中心に、そのわくわくを周りの人にお裾分けする気持ちで組み立てていくといいと思います。



studio-L
醍醐さん

